

第18回

全国水源の里 シンポジウム

in

岡山県真庭市

森と水が育む循環型の未来
——上流と下流の協働による新しい地方創生

2026

11/9 (月)

シンポジウム [入場無料] 13:00～17:00

会場 久世エスパスセンター 岡山県真庭市鍋屋17-1

情報提供 「ふるさと住民登録制度について」

基調講演 「関係人口という新しい仲間」
～観光でも定住でもない関係づくりとは？

パネルディスカッション

テーマ：「森と水の恵みと人のつながり」

交流会 [有料／要事前申込] 18:00～20:00

会場 真庭あぐりガーデン 岡山県真庭市中396-1

2026

11/10 (火)

視察研修 [有料／要事前申込] 9:00～13:00

A バイオマス発電と、SDGs コース

森林資源を活用したバイオマス発電や、生ごみを資源として活用する里山 SDGs の先端をめぐるコース

B CLT 学習と、蒜山高原 コース

大阪万博の大屋根リングの木材として注目の「CLT」を学び岡山県屈指の観光スポット「蒜山高原」を楽しむコース

C 発酵文化と、真庭の食 コース

源流域であり、軟水と硬水が交じり合う水と発酵の文化が息づくまちで「食」を堪能するコース

■旅行企画実施：(一社)真庭観光局 岡山県知事登録旅行業第2-367号 (一般社団法人全国旅行業協会正会員)



全国水源の里 シンポジウム

in

岡山県真庭市

私たちが暮らす水源の里・真庭市は、豊かな水と緑と自然に恵まれ、水源のかん養、国土の維持・保全、良好な環境の形成に欠くことのできない地域です。さらに、伝統文化の継承をはじめ、都市部に暮らす人々への食料生産、エネルギー供給など、日本の暮らしを支える大切な役割を果たしています。

しかし一方で、都市部への人口流出や高齢化・過疎化の進行がとまらず、地域活力の低下や山林の荒廃が大きな課題となっています。こうした状況の中で求められるのは、単に「人口の数」ではなく、「人口 × 活動量」という視点です。人口が減少しても、一人ひとりの活動や地域全体の取組が積み重なることで、地域に新しい活力を生み出すことができます。

全国各地では、小学校区単位など集落を横断した広域の地域コミュニティ(地域運営組織)の形成が進み、その数は7,710(令和5年9月1日現在)と増加しています。真庭市においても、地域おこし協力隊やふるさと納税、ふるさと住民登録制度などの制度を活用しながら、地域コミュニティが人材や資金を呼び込み、人口減少社会においても

「人口 × 活動量」による地方創生のエンジンとしての役割を果たすことが期待されています。

そこで、真庭市では、こうした取組を実践している住民、自治体、有識者が一堂に会し、人口減少社会において集落を横断した広域的な地域コミュニティによる活力の創造、自立に向けた多様な人材や資金の活用をテーマに議論を深めるとともに、「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」の理念に基づく流域連携の必要性を全国に広く発信することを目的に、シンポジウムを開催します。

11/9 (月)

シンポジウム [入場無料]

情報提供



「ふるさと住民登録制度について」

【講師】
総務省

自治行政局地域力創造グループ
ふるさと住民登録制度推進室

基調講演



「関係人口という新しい仲間」
～観光でも定住でもない関係づくりとは？

【講師】
島根県立大学准教授
田中 輝美氏

パネルディスカッション



テーマ：
「森と水の恵みと人のつながり」

【コーディネーター】
真庭市政策アドバイザー
中川 正樹氏



北房みらいづくりネットワーク
空き家活用チーム
平泉 繁氏



(株)KANAMS
執行役員営業部長
織田 紘子氏



真庭市地域おこし協力隊
小林 建太氏



中和地域づくり委員会
前委員長
大美 康雄氏

11/10 (火)

視察研修 [有料／要事前申込]



バイオマス発電と、SDGsコース



CLT学習と、蒜山高原コース



発酵文化と、真庭の食コース